

ヨーロッパ各国の極右政党

フランス	国民戦線(FN) 1972年設立	党首：マリーヌ・ルペン 初代党首のジャン・マリー・ルペンはネオナチ、ネオファシズム系の流れを引く。	ヨーロッパで最も成功を収めたポピュリズム政党。反 EU、移民排斥。1983年の地方議会選挙で伸長から、その後、欧州議会選挙でも躍進。2002年大統領選挙で初めて決選投票に進出。マリーヌに引き継がれてネオナチ的要素を排除、ソフト路線に転向、力点は移民・外国人問題に。「100万人の失業者、100万人の多すぎる移民」、「自国優先主義」で、移民排除と福祉重視と組み合わせる福祉排外主義。2014年欧州議会選挙で国内第一党に。2017年仏大統領選挙で決選投票に。
オランダ	自由党(PVV) 2006年設立	党首：ヘールト・ウィルデルス	ヨーロッパ以外の移民反対、非イスラム、反イスラム、反 EU、トルコ EU 加盟反対と NATO から排除などを掲げる。保守系議員から離党して1999年に一人だけの個人政党を設立。2005年に行われたヨーロッパ憲法条約批准をめぐる国民投票で否決、批准に反対して運動を主導的に展開して頭角を現す。2006年11月の総選挙で9議席を獲得。2010年自由民主人民党との右派連立政権を組み、閣外協力に。2012年、一方的に政権から離脱。2017年3月中旬の総選挙で議席数は増やして第二党に。第一党になれなかったため政権ならず。支持層は移民流入が進む白人労働者階級が多く住む地域で、女性よりも男性、18から25歳が中心、教育・所得水準で中以下の者が多い。
英国	イギリス独立党(UKIP) 1993年設立	党首：ポール・ナットル 前党首：マイケル・ファラージ 国民投票でEU離脱を達したとして党首を辞任。	英国 EU 離脱を主張する単一争点政党として誕生。反 EU、移民制限、反難民など。1999年欧州議会選挙で初めて3議席獲得、2014年欧州議会選挙で二大政党をしのぎ、第一党に。2013年の統一地方選挙で1桁から一気に147人当選。労働党支持層から地方議会などで議席奪うことで躍進。勢力伸長はファラージのカリスマ性に負うところが大きい。ただし、国民投票での扇動的言動で不信感を招き、内紛もあり2017年5月の総選挙で全員が落選。国会議員はゼロに。支持者は、労働者、中高年、低学歴・非熟練、白人の男性という傾向。従来の労働党の支持者。
ドイツ	ドイツのための選択肢(AfD) 2013年設立	共同党首：フラウケ・ベトリ、 エルク・モイテン	反 EU、ドイツの EU 離脱が最大目標。反イスラム、反難民、国民保守主義、経済的自由主義、右翼ポピュリズム。2013年ギリシャ経済危機を契機にギリシャ支援に反対を表明して、2014年欧州議会選挙で初めて当選、同年3州議会選挙で躍進。所属議員がナチズムを擁護で物議。2017年9月の連邦議会選挙で議席獲得を狙っているが、当初の勢いはない。支持層は、男性が女性よりも多く、低学歴者が多い。年齢では25~44歳、旧西独よりも旧東独の州に支持者が多い。
オーストリア	オーストリア自由党 1956年設立	ネオナチ、ドイツ民族至上主義の流れを汲む。1986年、ハルダーが党首につくと右傾化が進む。	オーストリア第一主義、反 EU、反移民・難民。1999年国民議会選挙で第二党に、2000年、オーストリア国民党と連立政権を組む。2016年、大統領選挙で同党のホーフ議員が左派・緑の党のバレン元党首と決選投票、接戦で敗れる。
イタリア	五つ星運動 2009年設立	政治風刺のコメディアンのパeppe・グリッロ、企業家のジャンロベルト・カザ	SNS の利用とイタリア伝統的な広場集会の組み合わせ。伝統的な政党のような明確な組織はない。国会議員数は下院91人(定数630)、上院35人(定数315)。インターネットを介した直接民主制を主張。欧州議会では英国独立党と会派を組み、ユーロ脱退に関する国民投票実施を主張。支持層は左派及び中道を中心に右派にも及び、男性・ブルーカラー労働者・中間所得層が多く、高齢者が少ない。大都市での市長職獲得が目覚ましい。
スペイン	ポデモス(私たちはできる) 2014年1月	党首：パブロ・イグラシアス・トウリオン テレビ討論番組の司会者として有名	政策面において EU 懐疑主義だが、移民に対して寛容な政策を打ち出しているところが他の欧州ポピュリズム政党と違う。2014年欧州議会選挙で5人当選。2015年12月の総選挙で69人(定数350)及び2016年6月の総選挙で71人、二大政党に次ぐ第三勢力に。支持層は、若年層及び青年層、都市部で高い傾向。
その他	イギリス国民党、デンマーク国民党、スウェーデン民主党、真のフィンランド人、黄金の夜明け(ギリシャ)、北部同盟(イタリア)、新しき力(イタリア)など		